

2/16 荒尾市行政改革推進審議会が
開催されました
～令和5年度取組状況の報告～

荒尾市行政改革推進審議会を市役所で開催し、荒尾市行政経営計画やDX推進計画の令和5年度取組状況などについて意見を交わしました。行政経営計画は、経営理念を「現場主義の徹底と市役所イノベーション」と定めるとともに、行政経営の基本方針や施策を経営体系として定めています。DX推進計画は、全ての市民の皆様がデジタル化の恩恵を享受できる全世代型デジタル社会の構築を図りながら、「暮らしたいまち 日本一」を目指しています。審議会での意見などを、施策や事業見直しに反映することで計画の実行性の向上を図ります。荒尾市行政改革推進審議会は、荒尾商工会議所会頭であり、同会の会長を務める高木 洋一さんをはじめ、市民など9人で構成しています。



主な意見

- 国全体で生産年齢人口が減少する中、厳しい採用状況であるため、市役所も職員の離職を防ぎ、風通しのよい働きやすい職場にしてほしい。
- 市役所業務のデジタル化が進んでも、市民との対話を大切にしてほしい。
- マイナンバーカードを使ってコンビニで住民票などの交付ができるようになったことは、市民サービスの向上につながっており、もっと周知すべき。
- 行政手続きのオンライン化については、市民の利便性向上のため、さらに推進してほしい。

2/13 JAたまな女性部が学校給食に
手作り味噌85kgを贈呈

JAたまな女性部が地元産の大豆・麦を使った手作り味噌を荒尾市・長洲町学校給食センターへ寄贈しました。この活動は平成20年から毎年行われ、荒尾市支部長の平島 仁美さん(写真左から二番目)は「子どもたちに地元産の食材で作った味噌を味わってもらいたいと願いを込め作りました」と話し、この味噌で作った「みそ汁」は荒尾市と長洲町の小中学校に届けられ、ふるさとの味を美味しくいただきました。



まちの話題

Arao City News

荒尾市の気になる話題をお届け!

地域の活動掲示板 荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

有明地区親睦運動会



3/10 有明地区協議会

健康増進や地域の親睦を深めるために有明地区協議会主催の親睦運動会を開催しました。地区内11区の対抗で行われ、子どもからお年寄りまで約200人が参加し、趣向を凝らした多彩な種目をにぎやかに楽しみました。

野球グローブ寄贈式



3/6 緑ヶ丘地区協議会

メジャーリーガーの大谷 翔平選手から各小学校にグローブが寄贈されたことを機に、緑ヶ丘地区協議会からも子どもたちに野球に親しんでもらおうと、緑ヶ丘小の児童にグローブやバットの寄贈を行いました。同校の全校集会時に児童代表に手渡し、その場で一緒にキャッチボールを楽しみました。

3/1 地域おこし協力隊
委嘱状交付式

地域おこし協力隊に着任した、中島 鈴々夏さんの委嘱状交付式を行いました。市長が「少子化が進んでいるため、Uターンを促進したい。我々にはない視点で市の魅力を発信してほしい」と委嘱状を渡すと、中島さんは「県内外から多くの方が訪れたいと思えるように頑張りたい」と述べました。中島さんは、市の公式メディア「ぎゃんすき! あらおちゃん」を運用していきます。Instagram▶



2/23 人権が花咲くまちを目指して
人権問題講演会を開催

部落解放同盟熊本県連合会南関支部長の細貝 両作さんを講師に招き、人権問題講演会を開催しました。講演では、自身の生い立ちを中心に、出会いから学んだこと、部落差別やマイノリティのフィルターを通して感じたことなどを話しました。参加者からは「実体験をふまえた話で身近なものとして理解でき、人権問題を考えるいい機会となった」など多くの感想をいただき、有意義な講演となりました。

